

みずほCustomer Desk Report 2022/08/31号 (As of 2022/08/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	138.48
TKY 9:00AM	138.67	1.0011	138.72	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	139.08	1.0055	139.19	1.1722	0.6909
SYD-NY Low	138.05	0.9982	138.28	1.1761	0.6956
NY 5:00 PM	138.81	1.0016	139.03	1.1622	0.6846
				1.1654	0.6854

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	31,790.87	▲ 308.12	日本2年債	▲0.0900%
NASDAQ	11,883.14	▲ 134.53	日本10年債	0.2200%
S&P	3,986.16	▲ 44.45	米国2年債	3.4569%
日経平均	28,195.58	316.62	米国5年債	3.2701%
TOPIX	1,968.38	24.28	米国10年債	3.1109%
ソコ日経先物	27,925.00	▲ 110.00	独10年債	1.5060%
ロンドンFT	7,361.63	▲ 65.68	英10年債	2.7025%
DAX	12,961.14	68.15	豪10年債	3.6510%
ハンセン指数	19,949.03	▲ 74.19	USDJPY 1M Vol	11.93%
上海総合	3,227.22	▲ 13.51	USDJPY 3M Vol	11.28%
NY金	1,736.30	▲ 13.40	USDJPY 6M Vol	10.89%
WTI	91.64	▲ 5.37	USDJPY 1M 25RR	▲0.07%
CRB指数	293.58	▲ 8.18	EURJPY 3M Vol	12.02%
ドルインデックス	108.77	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	11.90%
			Yen Call Over	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は138.67レベルでオープンし上値重く推移。ジャクソンホール会合後の反応も一巡し、上値の重さを意識した売りが優勢。仲値前後にかけて下落後、堅調な株式市場の動きを横目に138円半ばまで持ち直す場面があるも、上値の重さは変わらず138.33まで下落した後138.50レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は138.50レベルでオープン。材料難で小動きに終始し138.19レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は138.19レベルでオープン。朝方は米長期金利の上下を眺めながらの値動きとなり、138.55まで上昇後、138.18まで反落。その後、米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回ると米金利上昇・ドル高で反応。米長期金利が3.15%、米短期金利が3.5%を目指す動きともドル円は約一か月半ぶりの水準となる139.08まで上昇。買い一巡後、138.70近辺まで反落。午後は新規の手掛かり材料が乏しい中、小動きが続き、結局、138.81レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.0025レベルでオープン。午前中の米金利上昇局面ではパリティレベルを割り込み安値0.9983をつけるが、複数のECB当局者からインフレ抑制のために利上げの前倒しが必要との見方が伝わっている中、すぐに1.00レベル前半まで買い戻された。午後は1.0020近辺でもみ合い、結局、1.0016レベルでクロス。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月30日	08:30	日 失業率	7月 2.6%	2.6%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.3%/7.9%	0.4%/7.8%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 103.2	98

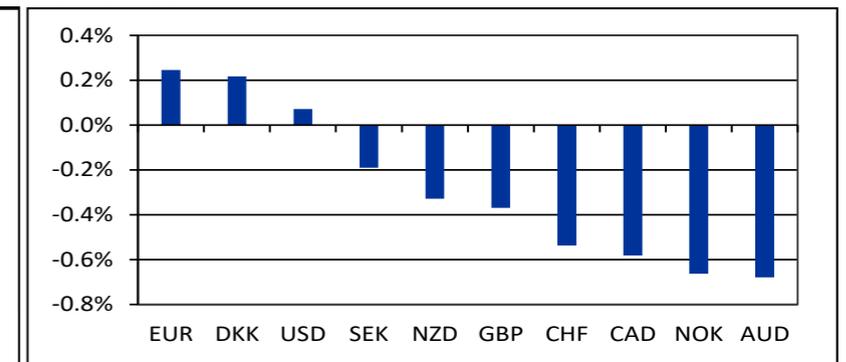
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月31日	10:30	中 製造業PMI	8月 49.2	49
	10:30	中 非製造業PMI	8月 52.3	53.8
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.4%/9%	0.1%/8.9%
	18:00	欧 コアCPI・速報	8月 4.1%	4.0%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 300k	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.20-139.40	0.9950-1.0060	138.50-139.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、NY時間に買い戻される展開。米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数、米JOLT求人件数が予想を上回る強い数字になったことに加え、NY連銀のウィリアム総裁らがインフレ抑制に向けた利上げ継続を改めて示したことでドル買いが強まり、138.81レベルでクロス。
 本日のドル円は堅調な推移を予想。週後半に米ISM製造業景況指数、米雇用統計を控えて大きくは動きづらいが、ジャクソンホール会議でのパウエル議長講演を受けて、ドルが買われやすい展開は継続か。株価の軟調推移でドルが選好されやすくなっていることに加え、月末のドル実需もドル買いをサポートしそうだ。本日の経済指標ではユーロ圏CPIに注目。予想中心は過去最高の前年比9%上昇となっており、ECBの大幅利上げ観測が強まれば、主要国で唯一金融緩和を続ける日本との対比から、対ユーロを中心に円安圧力が強まる展開も。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・逸見